

臨時レポート

FOMC (米連邦公開市場委員会) 金利据え置き

金融政策現状維持、バランスシート縮小開始は9月か

- 大方の予想通り政策金利を据え置き、誘導目標を1.00~1.25%に維持。
- バランスシートの縮小は「年内に着手」から「比較的早期に着手」へと変更。市場では9月の縮小開始と見る向きが強まった様子。
- インフレ（物価上昇）は目標の2%を下回っているとし、注視していくとした。

<予想通り金利据え置き>

- FOMCは7月25~26日の定例会合で、政策金利を現状維持の1.00~1.25%としました。今年に入り、3月と6月に2度の利上げを行いました。今回は市場の大方の予想通り金融政策を据え置きました。
- 前回のFOMCにおいて示されたバランスシート正常化プログラム*の実行については、「年内に着手」から「比較的早期に着手」へ変更されており、やや踏み込んだ表現に変更されたと見る向きも多く、市場参加者の間では9月に開始されるとの見方が強まったようです。一方で、労働市場や物価動向などに懸念が生じた場合には開始時期を調整する余地も残しているとの見方もあるようです。

*バランスシートの縮小計画

- ① 今年のいずれかの時点から、
「米国債 60億ドル」+「MBS（住宅ローン担保証券）等 40億ドル」=「合計100億ドル」を毎月減少させ始める
- ② 3カ月ごとに「米国債は60億ドルずつ」、「MBS等は40億ドルずつ」減少速度を速め、
1年をかけて「米国債 300億ドル」+「MBS等 200億ドル」=「合計500億ドル」を毎月減少させていく

- 物価については、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ指標としている食品とエネルギー価格を除いたコア物価指数（前年比）が目標とする2%を下回る状態が続いています（6月末時点）。声明では「前年比で全般的なインフレ率及びコアインフレ率は低下し、2%を下回る水準で推移している」とし、前回6月声明の「2%を幾分下回る」から「幾分」を削除しました。

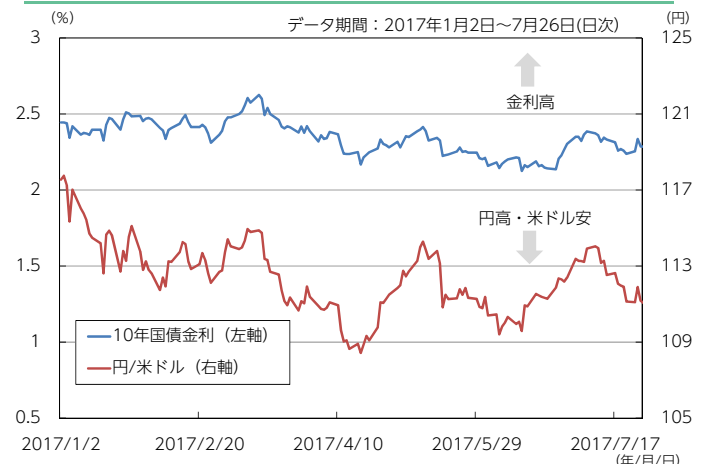
<米国債券金利は低下、為替はドル安/円高、米国株は史上最高値を更新>

- 市場では金融政策の現状維持は大方の予想通りとの見方が強く、またバランスシート縮小開始の時期については9月開始の可能性が高まったと見る向きが増えたようです。当日の市場は、FRBがインフレ目標への進捗の遅れを認めたことが、ややハト派（金融緩和推進派）的と受けとめられ、金利の先高感が薄れ、米国債券が買われ金利は低下しました。米国金利の低下を受けて為替はドル安/円高傾向で推移しました。米国株に関してはFOMCの影響は限定的で、好調な企業決算発表や原油価格の上昇などをうけて主要3指数（NYダウ・S & P 500・ナスダック総合）がそろって史上最高値を更新しました。

図表1：米国株式指数の推移



図表2：米国債券・為替の推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会